

不二越上滝線分科会での検討状況

1. 路線の現状分析

- ・平日、休日を問わず中心部（電鉄富山駅）へのアクセス手段としての利用や、沿線の学校への通学手段として多く利用されている。
- ・市内の他の鉄道線（富山港線、高山本線等）と比べて運行本数が少ないことや施設更新が進まないなど、鉄道の持続可能性が低下している。
- ・一方で、富山市の東部・南部地域を縦貫し、本市の都市マスタープランに位置付けている「公共交通軸」であり、沿線人口や土地利用等において、大きなポテンシャルを有している。

2. 分科会の開催状況

●第1回立山線・不二越上滝線分科会（R7.6.5開催）

[議題]

- ・不二越上滝線の検討状況について
- ・鉄道事業運営に係るモデル試算について

[議事要旨]

- ・路線のあり方を議論するとともに、継続して運行するための維持管理費の算出などについて検討を深めた。

●第2回不二越上滝線分科会（R7.9.1開催）

[議題]

- ・現在の検討状況について
- ・ローカル鉄道の再構築について
- ・今後の検討スケジュールについて

[議事要旨]

- ・地鉄および北陸信越運輸局にも構成メンバーに加わっていただき、鉄道事業再構築事業の実施に向けた検討を進めることを合意した。

●第3回不二越上滝線分科会（R7.12.1開催）

[議題]

- ・不二越上滝線のあり方に関する調査結果について
- ・不二越上滝線の再構築について
- ・今後の検討スケジュールについて

[議事要旨]

- ・沿線まちづくりと一体となった活性化を図るため、再構築事業の素案を基に、鉄道事業再構築実施計画の検討を進めることを合意
- ・事業構造については、みなし上下分離方式をベースに協定等で補完する「富山型官民連携方式」の議論を深める。

3. 今後の方針

- ・来年度は、令和9年度からの「鉄道事業再構築事業」の実施に向け、費用の精査や行政負担の明確化はもとより、市民への丁寧な説明と理解醸成を図りつつ、再構築実施計画の具体化を進める。